

# 枚方市立図書館

## おすすめの 子どもの本2023



↑ 図書検索は  
こちらから！

■2021年11月から2022年10月に出版された本の中から、特におすすめする本を選びました。  
子どもの本に関わる大人の方へ向けて紹介しています。

■本の情報は、書名、著者名、出版社名、図書館での分類記号、対象年齢の順になっています。

2023年4月発行 発行者：枚方市立中央図書館

電話：050-7105-8121

FAX：072-851-0962



### ぶるばびぶーん

ささき しゅん／さく 福音館書店

赤い車がぐんぐん走っていきます。でこぼこ道を乗り越え、橋を渡り、山を越えて、ぶるんぶるんとすすみます。夕暮れが迫るころ、お家に無事到着します。車の傾きでどんどんスピードが増していくのがわかり、シンプルなデザインと擬音が楽しい絵本です。言葉のリズムも楽しめます。

エホナーキローササ  
【幼児】



### ひよこどこどこ

やまだ だり／作 講談社

一辺18cm四方の絵本の見開きに「ひよこ どこどこ」の文字とともに筒の口や箱のすきまから、隠れているひよこの目が。次のページで「ひよこ どこ」とひよこが姿を現します。さいごはらっかせいの中から「ここ ここ ひよこ みつけた！」テンポよく、つぎつぎと場面が変わり、また、ひよこ以外のものも隠れていて、なにが隠れているのかをさがすのも楽しい絵本。

エホナーキローヤマ  
【幼児】



### なきむしせいとく

たじま ゆきひこ／作 童心社

1945年戦争末期の沖縄が舞台。小学生のせいとくは米軍の攻撃を受け、家族で逃げます。激しい攻撃によりバタバタと倒れていく島の人たち。島中のいたる所に転がる死体を見ても恐怖心が重なる何とも感じなくなる極限状態の島の人たち。ガマでは日本兵の狂気、ひめゆり学徒隊、民間人を巻き込んだ酷く残酷な沖縄の状況が伝わってきます。

エホナータシ  
【小学校中学年以上】



### 夜をあるく

マリー・ドルレアン／作 よしい かずみ／訳

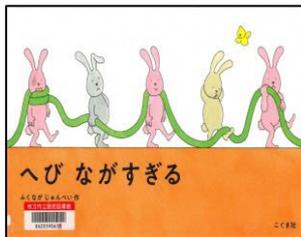
とある日の真夜中、ぼくたち家族は家の外へ出て、どこかを目指して歩いていきます。描かれる景色は、家が立ち並んでいる町からどンドン山道へと変わって、山の斜面へ。そして、ぼくたちが山頂にたどり着くと、そこには……。青を基調にした絵とおだやかな文から、夜の静けさや空気がよく伝わってきます。登場人物たちと一緒に、夜をあるき、大切な家族の時間を過ごした気分になれる絵本です。

エホナートル  
【小学校低学年以上】  
B L 出版

## へびながすぎる

エホンーフク  
【幼児】

ふくなが じゅんぺい／作 こぐま社

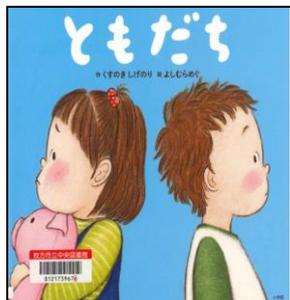


へびだと誰も気づかず、動物たちは滑り台や縄跳び、プールにして遊びます。へびは横長に伸びていたり、ぐるぐると絡まっていたりして頭が見えないのです。「へびだー！」とやっと気づいたら、あれあれ？動物たちの表情は豊かでユーモアたっぷりに描かれています。次はどうなるかとページをめくり、読み終わったら、また始めから読んでみたくなる楽しい絵本です。

## ともだち

エホンーヨシ  
【小学校中学年以上】

くすのき しげのり／作 よしむら めぐ／絵 小学館



小さな女の子みずきは、隣に引っ越してきたばかりのしゅんいち君に何度も挨拶します。でも彼は知らん顔。やっと気がついた彼は、笑顔で両手の人差し指を何度も何度も曲げてみせます。みずきは、わけが分からず意地悪な顔になります。耳の聞こえない子どもに会い、困惑しながらも手話を頼りにコミュニケーションの入り口に立つ姿が良く描かれている絵本。後ろの見返しに簡単な手話が紹介されています。

## おかあちゃんにきんメダル！

ヤサシイート  
【小学校低学年】

いどき えり／さく おしの ともこ／え 国土社

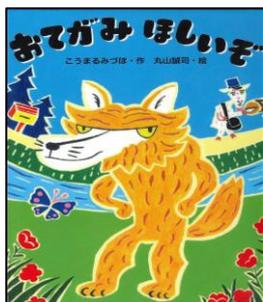


ぼくのおかあちゃんは右手が動きません。ぼくにとっては当たり前だったけれど、授業参観の時に、みんながおかあちゃんをジロジロ見たり、「宇宙人みたい」とからかわれたことをきっかけに悩みだします。でも、片手で料理をしているおかあちゃんを見た友達から「おかあちゃんは片手で何でも出来るスーパーマンや！」と言われたことで、自慢のおかあちゃんになりました。見た目判断せず、出来ることに目を向けるきっかけの本です。

## おてがみほしいぞ

ヤサシイーコウ  
【小学校低学年】

こうまる みづほ／作 丸山 誠司／絵 あかね書房



オオカミのギロンは、手紙がほしくてたまりません。相手がいなければ自分あてに書けばいいと思いついて手紙を書きましたが、いくら待っても届きません。ヤギの郵便屋を問いつめると、なぜか別の手紙が届きました。手紙を待ちわびてどなったりうなだれたりする素直なギロンと一緒に、届かない手紙にやきもきます。謎が解けたとき、ギロンのうきうき感とともに爽やかな気持ちに包まれます。

## げたばこかいぎ

ヤサシイームラ  
【小学校低学年以上】

村上 しいこ／作 高畠 那生／絵 PHP研究所



夜、名前を呼ばれてベッドから起きると部屋の入口にはるとの右足のスニーカーが立っていました。これから、げたばこかいぎが始まるのでよびに来たと言うのです。会議には、家族の靴たちが集まっていました。今回の議題は、パパの革靴が臭いので、はるとから伝えて欲しいということでした。会社に様子を見に行ったはるとは、一生懸命働くパパの姿に感動して解決策を考えます。

## にわか魔女のタマユラさん

Fーイト  
【小学校中学年以上】

伊藤 充子／作 ながしま ひろみ／絵 偕成社



「喫茶たまゆら」の店主のタマユラさんは、お客さんのヨルさんから黒いカバンを預かります。思い切って開けてみると、大きな鍋とほうき、鉢植えと黒いネコが飛び出してきました。タマユラさんがネコや鍋やほうきに名前を付けるとおしゃべりが出来るようになりました。どうやら魔女の力もひきついてしまったようです。



## ニャンの日にまいります！

木内 南緒／作 酒井 以／絵 岩崎書店

Fーキウ  
【小学校中学年以上】

晴也は、いつもと違う川沿いの道を帰る途中に川でおぼれかけていた猫を助けて飼うことにしました。その猫を飼い始めてから、夢の中で不思議なことが起こりました。二本足でしゃべる猫が案内役をしてくれ、いじめっ子が家来になり、あこがれていた女の子がメイドになって世話をしてくれるなど、何でも夢がかなう世界になっていました。夢の世界で勇気をもらい、現実の世界でいじめられている女の子のために一歩を踏み出します。



## コカチン

佐和 みずえ／作 トミイ マサコ／絵 静山社

Fーサワ  
【小学校高学年以上】

モンゴル帝国の皇帝フビライの娘コカチンは、アルグン王の花嫁としてイル・ハン国へ旅立ちました。イル・ハン国の使者パルス、イタリアの商人マルコ・ポーロが同行して船に乗り、はるばる1年半もの間旅を続けます。道中、海賊に襲われたり、上陸した異国で王の病を治そうとしたり、子どもをさらうという鬼女と戦ったり、竜巻にさらわれたりします。婚礼が近づくにつれ、コカチンは自分の本当の気持ちに気づきます。



## ぼくのちいばっば

長江 優子／作 早川 世詩男／絵 ゴブリン書房

Fーナカ  
【小学校中学年以上】

ある日、飼っている鳥（チーパ）が鳥かごからいなくなっていました。お父さんとお母さんと一緒にマンション周辺を探しましたが、見つからず、チーパのいない【ヒニチジョウ】の世界が始まります。

【ヒニチジョウ】の世界から脱出するために、商店街の人など、クラスメイトが協力してチーパを探します。いつも当たり前だった世界が突然変わり、戸惑いながらも成長する主人公イタルの世界を覗いてみませんか。



## ラビットホッピング！

マーリン・エリクソン／作 きただい えりこ／訳 森山 標子／絵 理論社

Nーエリ  
【小学校中学年以上】

ラビットホッピングとは、うさぎと人でチームを組んで障害物を飛び越え、タイムと失点の少なさで順位を決めるスウェーデン生まれの競技です。アルヴィンは妹が入院することになり、おじいちゃんの家で預けられます。憂鬱な気持ちで過ごすアルヴィンですが、近所に住むうさぎのブリーダー・イルラに導かれ、この競技に出会います。彼女に見込まれたアルヴィンは、うさぎのヴィルデとともに大会に出場することになります。



## 秘密の大作戦！

### フードバンクどろぼうをつかまえろ！

オンジャリ Q.ラウフ／著 千葉 茂樹／訳 スギヤマ カナヨ／絵 あすなろ書房

Nーラウ  
【小学校中学年以上】

両親の離婚によりネルソンと妹のアシュリー、お母さんはいつもお腹がペコペコです。そんな一家が楽しみにしているのは、毎週木曜日に行くフードバンク（食べ物銀行）。食べ物が貰える世界一の銀行です。ある時、ネルソンはフードバンクに泥棒が現れたとの噂を耳にします。フードバンクへ行くと確かに食べ物が減っています。お腹を空かせているたくさんの人を助けるため、ネルソンたちは泥棒を捕まえようと作戦を企てます。



## かみなり

武田 康男／監修・写真 小杉 みのり／構成・文 岩崎書店

チシキ451  
【小学校低学年以上】

かみなりはどうしてできるのか、どうして地上に落ちてくるのかをわかりやすい文章と鮮明な写真で紹介した科学絵本。わた雲が雷雲になるまで、雷雲の中でどうやって電気ができるのか？その電気がどうして地上に落ちてくるのかも写真と共に説明しています。内容は本格的ながら小さな子どもにもわかりやすく書かれています。

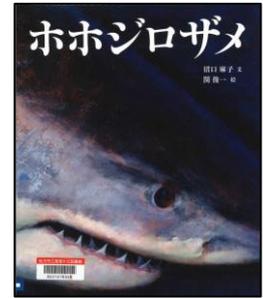


## うに

吾妻 行雄・青木 優和／文 畑中 富美子／絵

チシキ484  
【小学校低学年以上】  
仮説社

宮城県南三陸の祖父母宅に遊びに来たぼく。ごちそうの中にあつたトゲトゲの殻に包まれたへんてこなもの「うに」を食べる気がないぼくに、祖父は「たいへんなこと」を話し始めます。震災の影響でうにとうにのえさとなる海藻の生態バランスが崩れたが、再び美味しいうにを食べることができるようになったのはなぜか、ぼくはうにの生態を観察していく中で学んでいきます。うにの美しいイラストは「へんてこなもの」には見えません。



## ホホジロザメ

沼口 麻子／文 関 俊一／絵 福音館書店

チシキ487  
【小学校低学年以上】

ホホジロザメの視点からみた海の世界。そこで繰り広げられる壮絶な闘い、命の循環は自然界の姿そのもの。この世に生を受け、大人へと成長し、命を全うする…太古の昔からずっと続けられてきたこの生命の営みは、ときに苦しく、残酷です。淡々とした文体でありながら、自然の厳しさと畏怖の念を感じる絵本です。



## 女子サッカー選手です。

### そして、彼女がいます

下山田 志帆／著 偕成社

367  
【小学校中学年以上】

著者の下山田志帆さんはサッカー選手で、同性の恋人がいます。自分は男なのか女なのか、誰を好きになるのかという下山田さん自身も抱いていた疑問や、男の子に混じってサッカーをしていたことで投げつけられた心ない言葉にひそむ男女の格差について、やさしい言葉でわかりやすく書かれています。人とはちがう何かを持っていることで悩んだりもやもやした気持ちになったりした経験をもつ、すべての人に読んでほしい本です。



## 給食室のいちにち

大塚 菜生／文 イシヤマ アズサ／絵 少年写真新聞社

374  
【小学校低学年以上】

小学生が毎日食べている給食は誰が作ってくれているのでしょうか。給食室で働く栄養士さんや調理員さんの仕事の様子を時系列に沿って見せてくれます。子どもたちが授業を受けている間に栄養があつておいしい給食を用意してくれる人々の働く姿がよくわかります。身近なのに意外と知らない、給食のできるまでを立体的に描いています。



## お山のライチョウ

戸塚 学／写真・文 小宮 輝之／監修 偕成社

488  
【小学校中学年以上】

日本の特別天然記念物として保護されている雷鳥は「神の鳥」として人々に敬われてきました。今、地球温暖化によってこの鳥の生存に危機が迫っています。本書では、この鳥のとりことなり20年以上にわたってその生態を撮り続けてきた写真家が、自らの記録写真等を用いて、雷鳥とはどういう鳥なのか、その生態や絶滅の危機に陥るまでの経緯、更にはそれを回避するための保護活動の様子などを紹介して環境保護の大切さを訴えます。



## すごいゴミのはなし

滝沢 秀一／文 スケラッコ・萩原 まお／イラスト

518  
【小学校中学年以上】  
学研プラス

ゴミ清掃員の著者が日々仕事をする中で見えてきたのは、日本と世界のゴミ問題でした。クスツと笑えるゴミ回収にまつわるエピソードを交えつつ、日本のゴミ回収システムや食品ロス、世界のゴミ事情について学ぶことができます。日本のゴミの最終処分場が、あと20年ほどでいっぱいになるなど、大人も知らないような情報が満載です。家庭でも実践できるゴミ問題解決法も紹介されています。